

第4学年国語科学習指導案

児童 4年1組 男子22名 女子17名 計39名
指導者 小原大祐

- 1 単元名 場面をくらべて読もう
教材名 「一つの花」(物語)

2 児童と単元について

(1) 児童について

1学期に児童は、「三つのお願い」では叙述を基に人物の気持ちを想像しながら読む学習をしている。また、「白いぼうし」では叙述を基に人物や様子を想像しながらファンタジー作品を楽しむとともに、作品の象徴である夏みかんの価値やそれに込められた思いを考える学習をしている。ここで学習した「作品の象徴を基にした読みの方法」を本単元の学習に生かしていきたいと考えるが、未だ読みの方法が充分身に付いていなかったり、自分の考えをもつことができなかつたりする児童が少なくない。

4月の意識調査の結果、国語の学習が好きと答えた児童は31名(78%)、進んで国語の授業に参加していると答えた児童は34名(85%)、物語や説明文の学習の仕方が分かると答えた児童は35名(88%)、読書が好きと答えた児童は37名(93%)であった。

5月のNRTでは、叙述を基に場面を想像して読むことは全国を上回る結果であった。

本単元の事前調査において、一番興味のある人物で最も多かったのは、ゆみ子(77%)であったが、次に多かったお父さん(18%)の言動を中心に読み取りをしていく。また、一番心に残った場面で最も多かったのは、お父さんがゆみ子にコスモスの花をあげる場面(44%)で、次に多かったのは、十年後の場面(23%)だった。

(2) 単元と教材について

本単元「場面をくらべて読もう」は、登場人物の様子や気持ちを場面ごとに比較しながら読み取ることを通して、戦争時の人々を描いた作品世界に迫ることをねらいとしている。

中心教材「一つの花」は、主人公「ゆみ子」とその両親の戦争中から戦争後までの様子を描いた物語であり、平和への願いと家族愛が主題になっている。物語の前半の場面は戦争中、後半は戦争後という構成になっており、前半と後半を対比的にとらえることによって、戦争と平和がもたらすものをとらえることができる。また、くりかえし出てくる言葉「一つだけ」に着目し、場面による意味の違いを対比的にとらえることで、題名「一つの花」の象徴性に気付かせ、物語の作品世界に迫っていくことができると考える。

補助教材「むらさき花だいこん」は、大陸に渡った若い日本兵が、中国人の少女からもらった花の種「むらさき花だいこん」を、戦争後、平和への願いをこめて一生をかけて日本中にまくという話である。戦争中と戦争後を描いていることや、花に願いを託していること、中心となる人物が兵士だということ等、「一つの花」と共通している点が多いことから、補助教材に適した物語と考える。中心教材を通して学んだ読みの方法の活用と習熟を図るとともに、二つの物語に共通することを考えさせ、児童の戦争や平和に対する考えを深めたい。

(3) 付けたい力と読みの方法 【付けたい力】 読みの方法

【物語の全体構成を理解し、場面の展開・内容の大体を把握する力】

設定をとらえる。

- ・登場人物
- ・時、場所

出来事にそって場面を分ける。

- ・出来事

これらの方法を用いて児童にとらえさせたいことは以下の通りである。

- ・登場人物はゆみ子とお父さん、お母さんの三人であり、主人公はゆみ子であるが、語り手はお父さんの気持ちに寄り添って物語を展開している。
- ・戦争中と戦争後の二つの場面構成になっている。
- ・父母のゆみ子への思いが分かる出来事に着目すると五つの場面に分けられ、内容の大体が把握できる。

【登場人物の行動や心情の移り変わりを想像的に読む力】

<p>会話文や行動を基に心情を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お父さんの言動 ・キーワード（コスモス） <p>場面を対比しながら読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争中と戦争後のゆみ子を取りまく状況の変化
--

お父さんの心情に気を付けて物語を読み進めるが、語り手は登場人物の心情を語っていないという作品の特徴上、お父さんの言動に着目させる。その際、お父さんの言動の中に頻繁に出てくる「一つだけ」の場面での意味の違いを対比して考えさせたり、山場の場面でゆみ子に差し出す一輪のコスモスの描写を詳しく読んだりすることによって、ゆみ子の幸せを願うお父さんの思いを想像的にとらえさせる。また、戦争中と戦争後のゆみ子を取り巻く状況の変化の違いを対比的にとらえさせることで、戦争によって奪われるものと、平和によってもたらされるもの、戦争でも奪えないものについて考えさせる。

【物語に対して自分の考えをもつ力】

<p>題名の象徴性を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワード <p>読み取りを通して考えたことを文章に書く。</p> <p>補助教材を読み、共通していることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の対比、類比
--

題名「一つの花」の象徴しているものを「一つ」と「花」をキーワードとしてとらえさせたり、学習を通して学んだ「父母の愛情や平和への願い」をゆみ子への手紙という形で文章にまとめさせたりすることによって、物語に対する自分の考えを深めさせる。

さらに、中心教材と補助教材の類似点、相違点をとらえさせるために、中心教材を通して学んだ学習の方法「設定、出来事、場面の対比、題名の象徴性」等の方法を用いて作品を読ませ、習熟を図るとともに、それらに対比・類比させることで、二つの物語に共通する内容に迫る。

3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	読みの方法を用いて課題について進んで考え、意欲的に物語を読もうとする。	・読みの方法を用いて課題について進んで考え、意欲的に物語を読もうとしている。
読む能力	物語の全体構成を理解し、場面の展開・内容の大体を把握することができる。 読むこと ウ 登場人物の行動や心情の移り変わりを想像的に読むことができる。 読むこと ウ 読み取った内容から自分の考えをもち、まとめることができる。 読むこと エ	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の全体構成を理解し、場面の展開・内容の大体を把握している。 ・登場人物の行動や心情の移り変わりを想像的に読んでいる。 ・読み取った内容から自分の考えをもち、まとめている。
言語についての 知識・理解・技能	新出漢字や読み替えの漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 イ(ア)	・新出漢字や読み替えの漢字を正しく読んだり書いたりしている。

	<p>難語句の意味を国語辞典で調べることができる。工(イ) 様子を詳しくする言葉の性質や使い方を理解することができる。 工(ア)</p>	<p>・難語句の意味を国語辞典で調べている。 ・様子を詳しくする言葉の性質や使い方を理解している。</p>
--	--	---

4 単元の指導計画と評価規準(12時間)

段階	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
見 通 す	1	単元名とリード文から学習に見通しをもつとともに、本文を通読し、感想を書く。 新出漢字や難語句の意味を調べる。		リード文で問いかけられていることを意識しながら感想を書いている。 (ノート)	新出漢字や読み替えの漢字を正しく読んだり書いたりしている。 (ノート)
	2	「ちいちゃんのかげおくり」を想起し、「一つの花」との共通点と相違点を話し合うことで学習に関心を持ち、学習計画を確認する。	進んで二つの物語の共通点と相違点を考え、学習に関心をもっている。 (観察、ノート)	二つの物語の共通点と相違点に気付いている。 (発言、ノート)	難語句の意味を国語辞典で調べている。 (ノート)
深 め る	3	物語の設定と場面の展開をとらえ、大体の内容を把握する。	進んで課題について考えようとしている。 (観察、ノート)	物語の設定と場面の展開をとらえ、大体の内容を把握している。 (発言、ノート)	様子を詳しくする言葉の性質や使い方を理解している。 (ノート)
	4	戦争中のゆみ子をとりにく状況を読み取る。		戦争中の物質的に欠乏しているゆみ子をとりにく状況を読み取っている。 (発言、ノート)	
	5	高い高いをするお父さんのゆみ子への思いを読み取る。		「一つだけ」という言葉の意味を考えながら、ゆみ子の将来を案じるお父さんの思いを読み取っている。 (発言、ノート)	
	6	戦地に出向くお父さんの状況と心情を読み取る。		戦地に出向くお父さんの状況と心情を読み取っている。 (発言、ノート)	
本 時	7	お父さんがゆみ子にコスモスの花をあげた理由を読み取る。		「一つだけ」の意味を比べながら、お父さんがゆみ子にコスモスの花をあげた理由を読み取っている。(発言、ノート)	
	8	十年後のゆみ子と、ゆみ		十年後のゆみ子と、	

		こを取り巻く状況の変化を戦争中と比べながら読み、平和の中を生きるゆみ子の様子をまとめる。		ゆみこを取り巻く状況の変化を戦争中と比べながら読み、平和の中を生きるゆみ子の様子をまとめている。 (発言、ノート)	
まとめ	9	題名が表していることをとらえ、物語に対する自分の考えを深めるとともに、読み取ったことを生かしてゆみ子に手紙を書く。	進んで題名について考えたり、手紙を書いたりしている。(観察、ノート)	読み取った父母の愛情や平和への願いを考えながらゆみ子に手紙を書いている。(発言、ノート)	
広める	10・11	学習した方法を使って「むらさき花だいこん」を読む。	学習した方法を使って、進んで文章を読もうとしている。(観察、ノート)	学習した方法を使って「むらさき花だいこん」を読んでいる。(発言、ノート)	
	12	学習した方法を使って「むらさき花だいこん」を読み、二つの物語に共通する中心となっている考えに迫る。	二つの物語を比べて読み、共通する中心となっている考えに迫ろうとしている。(観察、ノート)	学習した方法を使って「むらさき花だいこん」を読み、「一つの花」と比べて自分の考えをもっている。(発言、ノート)	

5 本時の指導 (7 / 12)

(1) 本時の目標

「一つだけ」の意味を比べながら、お父さんがゆみ子にコスモスの花をあげた理由を読み取ることができる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

具体的評価規準 評価の観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する 児童への手立て
読む能力	コスモスの描写と父の言動をとらえて、父の願いと関連付けながら自分の言葉でまとめている。 例)「プラットホームの～コスモスの花」や「さあ、～大事にするんだようー」から、お父さんは戦争がなくなってほしい、ゆみ子に幸せになってほしいという願いを伝えようとした。	コスモスの描写や父の言動のいずれかをとらえて、父の願いと関連付けながらまとめている。 例)「さあ、～大事にするんだようー」から、お父さんはゆみ子に幸せになってほしいという願いを伝えようとした。	書いてある箇所やノートの書き方を教えたり、ヒントなどを与えたりしながら支援する。

(3) 本時の展開

段階	学習活動 発問 ・ 期待する児童の反応	教師の関わり方 ・ 留意事項 評価
見通す 3分	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どうしてお父さんは、ゆみ子にコスモスの花をあげたのだろうか。</p> </div> <p>2 読みの視点を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ コスモスの様子 ・ お父さんの言葉や行動</p> </div>	<p>・ コスモスの様子 お父さんの言葉や行動 の順序で読み取っていくという見通しをもたせる。</p>
深める	<p>3 学習場面を音読する。</p> <p>4 場面の状況を確認する。</p> <p>5 課題について自分の考えをもち、まとめる。 コスモスの様子 お父さんの言葉や行動</p> <p>6 考えを交流し合う。 コスモスの花は、誰に「忘れられたように」咲いていたのでしょうか。 ・ みんな ・ 世の中 なぜ、「忘れられたように」咲いていたのでしょうか。 ・ 戦争中だったから この場面の「一つだけ」は、二の場面と同じでしょうか。 ・ 違う。この場面は、代えることができないという意味。 「一つだけのお花」の「お花」の代わりに言葉を入れるとしたら何という言葉を入れますか。 ・ 美しいもの ・ 命 ・ 喜び どうしてお父さんは、コスモスの花をあげたのでしょうか。 ・ あやすため ・ 笑顔でお別れするため ・ もう会えないと思ったから</p>	<p>・ 一人で読み取ることが困難な児童のために、ここで場面の状況を押さえさせる。</p> <p>・ 一人一人に考えをもたせるために、ここでノートの書き込みページに自分の考えを書いてまとめさせる。 ・ 一人でまとめることができない児童には、ヒントなどを与えながら支援する。</p> <p>・ この二つの発問により、戦争が原因だということを押さえさせる。</p> <p>・ この発問により、二つの場面の「一つだけ」の違いを押さえさせる。</p> <p>・ ここでは、「世の中に、一つしか無いものは何だろうか。」という補助発問により深く考えさせる。</p> <p>・ この二つの発問により、お父さんのコスモスの花をあげた動機とともにコスモスの花に込めた願いをとらえさせる。</p>

37分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 願いを伝えるため <p>お父さんの願いとは、何だったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゆみ子（家族）が幸せになること ・ ゆみ子が成長すること ・ 平和な世の中になること <p>7 課題についてまとめる。</p>	<p>コスモスの描写や父の言動のいずれかをとらえて、父の願いと関連付けながらまとめている。 （発言、ノート）</p>
まとめ 5分	<p>8 本時の学習を振り返る。</p> <p>9 次時の学習課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の読み深まりや学習の仕方について振り返らせる。 ・ 十年後のゆみ子は幸せかどうかについて考えていくことを確認する。

(4) 本時の板書計画

さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだようー。

美 命 喜
し い び
も の

一つだけかえることができない

ブラットホームのはしつぽの、ごみすて場の
みんな・世の中に「戦争中だったから
ような所に、わすれられたようにさいていた
コスモスの花

●
どうしてお父さんは、ゆみ子に
コスモスの花をあげたのだろうか。

視点 ” コスモスの様子
お父さんの言葉や行動